

令和元年度

海老名市消防運営審議会



日 時 令和元年11月15日(金)
午後1時から
場 所 海老名市消防本部会議室

海老名市消防本部

令和元年度 海老名市消防運営審議会 次第

期 日 令和元年11月15日（金）

時 間 午後1時から

場 所 消防本部会議室

1 開 会

2 消防長あいさつ 二見消防長

3 自己紹介

4 役員選出

5 会長あいさつ

6 報告事項

(1) 消防総務課

(仮称)海老名市消防署西分署の整備計画進捗状況について

(2) 予防課

予防課主要事業について

(3) 警防課

救急活動の支援用ロボットスーツの導入について

車両更新について

(4) 消防署（管理課・警備課）

災害出動件数について

消防署で実施している主な訓練について

7 その他

8 閉 会

海老名市消防運営審議会委員名簿

令和元年8月1日現在

氏名	住所	選出区分	役職名	任期
仲川 幸夫	海老名市東柏ヶ谷	自治連		自 R元. 8. 1 至 R 3. 7.31
木内 修	海老名市杉久保北	学識経験者		自 R元. 8. 1 至 R 3. 7.31
樋口 孝利	海老名市上郷	学識経験者		自 R元. 8. 1 至 R 3. 7.31
鹿子畑美智子	海老名市国分北	学識経験者		自 R元. 8. 1 至 R 3. 7.31
遠藤 治夫	海老名市杉久保南	市民公募		自 R元. 8. 1 至 R 3. 7.31
伊波 弓子	海老名市下今泉	市民公募		自 R元. 8. 1 至 R 3. 7.31
井上 勇人	海老名市社家	消防団長		自 R元. 8. 1 至 R 3. 7.31
塩脇 憲一	海老名市下今泉	消防副団長		自 R元. 8. 1 至 R 3. 7.31

海老名市消防運営審議会 消防本部出席者名簿

役 職	氏 名	備 考
消防長	二 見 裕 司	
消防本部次長	青 木 利 行	
消防本部消防総務課長	河 井 務	
消防総務課地域消防担当課長兼係長	菊 池 徹	
消防総務課庶務係長	塩 川 和 明	
消防本部参事兼警防課長	村 上 順 一	
警防課主幹兼警防係長	小 菅 喜 宏	
警防課主幹兼救急救命係長	佐 藤 幸 博	
消防本部参事兼予防課長	池 田 学	
予防課査察担当課長兼係長	柳 田 芳 朗	
予防課審査係長	石 渡 宏 典	
消防本部参事兼消防署長	大 野 公 彦	
消防署管理課長	海 塩 明 宏	
消防署管理課管理係長	小 林 邦 央	
消防本部参事兼副署長 兼消防署第2警備課長	岩 間 雅 人	
消防総務課主任主事	永 島 一 樹	事務局
消防総務課主任主事	猪 熊 剛 士	事務局

（仮称）消防署西分署の整備計画の進捗状況について

（仮称）消防署西分署は、海老名駅西口地区・駅間開発による商業施設の増加や高齢化の進展等により救急需要が高まっていること。また、市域の中で現場到着に時間を要することが多い、上郷・下今泉地区への現場到着時間の短縮を図るため整備を進めております。

【整備計画の概要】

- 1 場 所 海老名市上今泉2044番地1号外 市立今泉小学校東側
- 2 敷地面積 2306.85㎡
- 3 建物規模
 - (1) 建築面積 814.65㎡
 - (2) 延床面積 1087.69㎡
- 4 建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
- 5 配置車両
 - (1) 消防ポンプ車 1台（本署から移動配備）
 - (2) 高規格救急車 1台（新規）
 - (3) はしご車（必要に応じ、配備予定）



【進捗状況】

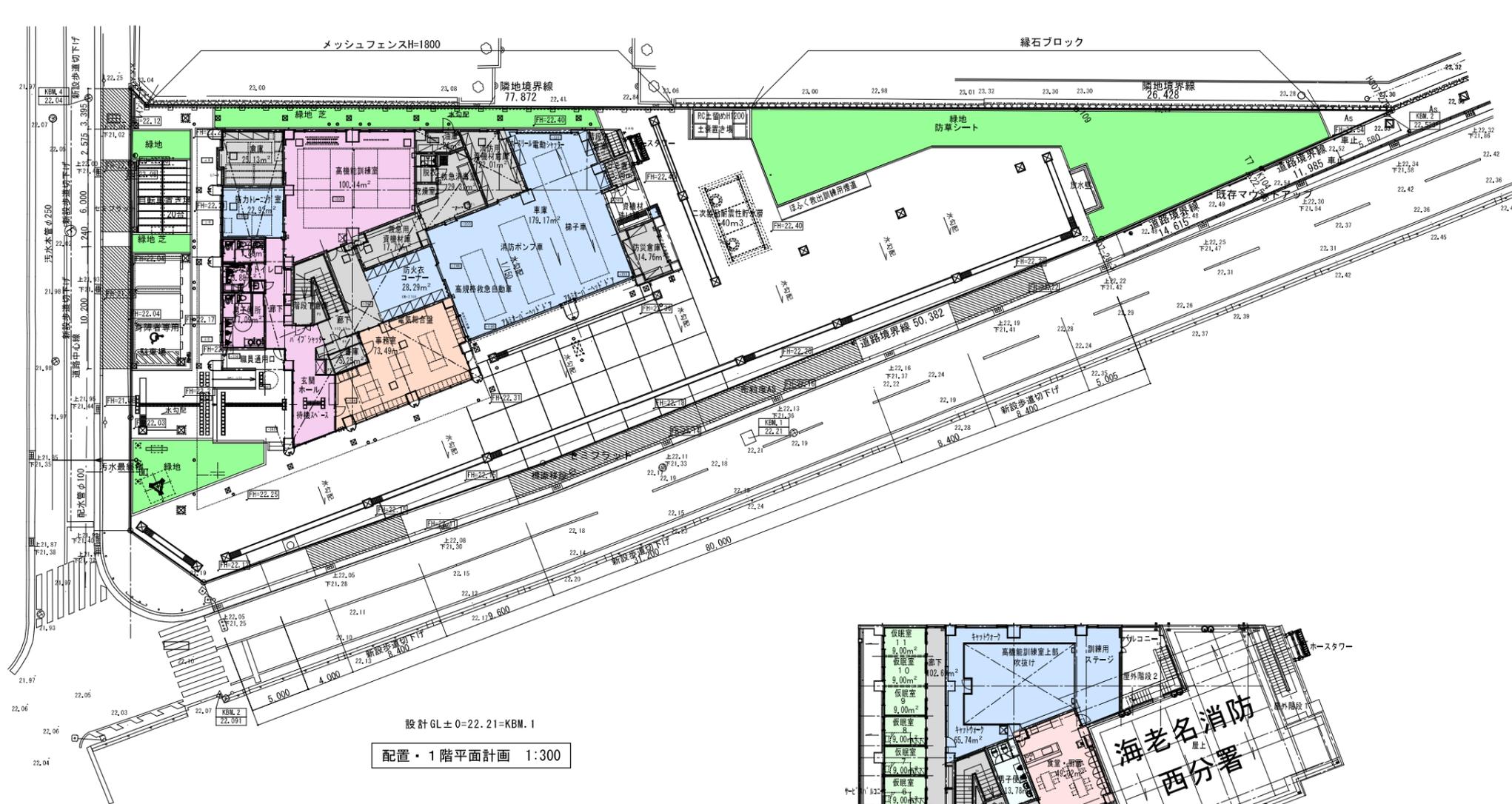
平成30年度 用地取得、基本設計・実施設計
 令和元年・2年度 建設工事

工 種	月 日	令和1.10			11			12			令和2.1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11											
		1	10	20	1	10	20	1	10	20	1	10	20	1	10	20	1	10	20	1	10	20	1	10	20	1	10	20	1	10	20	1	10	20	1	10	20															
仮設工事				仮設				地足場設置					地足場解体														足場等設置工事																	足場解体体囲い撤去								
外壁工事				仮設事務所敷き鉄板設置																																								吹付 金物取付								
屋根工事																																												アスファルト防水 押えコン								
建築工事2F																																												躯体工事 養生 内装工事								
建築工事1F																			床スラブ	躯体工事																							養生 内装工事									
杭工事・基礎工事				準備工事	杭・山留			基礎工事					埋戻し山留撤																																							
外構工事				A3撤去									耐震性貯水槽					土壌置場 放水壁																									外構工事(建物周り)									
電気設備工事				準備工事																																																
機械設備工事				準備工事																																																

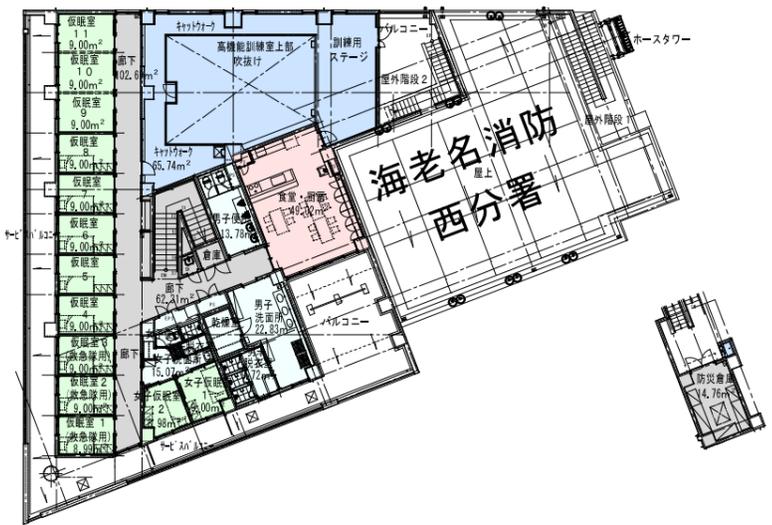
平成33年2月 開署予定

【完成イメージ】

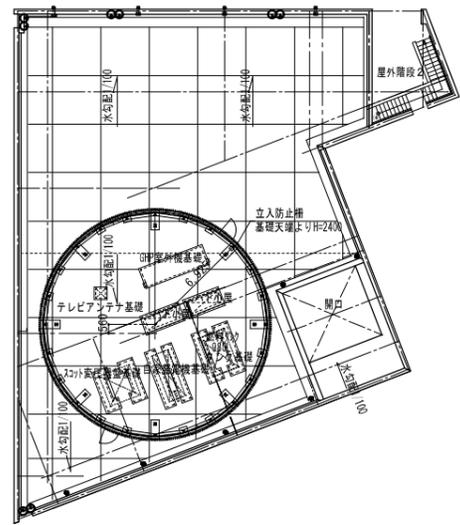




設計GL±0=22.21=KBM.1
配置・1階平面計画 1:300



2階平面計画 1:300



R階平面計画 1:300

凡 例	
[FH=22.00]	計画地盤高
○	公共汚水渠及び取付管
□	宅内雨水管
⊠	レインコート及び角ます(浸透)

凡例			
[Pink Box]	: 一般利用	[Red Box]	: 食堂
[Orange Box]	: 執務	[Light Blue Box]	: 水回り
[Dark Blue Box]	: 車庫・訓練	[Grey Box]	: その他
[Light Green Box]	: 仮眠	[Dark Green Box]	: 緑地

予防課主要事業について

主要事業概要

事業名	令和元年度の主な事業	活動状況
女性防火推進員育成事業 58名	第6期女性防火推進員全体会議	平成30年度事業報告 令和元年度事業計画 46名
	研修視察	国立開発研究法人・防災科学技術研究所 29名
	防火・防災座談会	避難所運営訓練 (消防防災科学センターから講師を招き訓練実施) 42名
	普通救命講習Ⅰ	心肺蘇生法及びAED取扱方法 48名
	防火・防災講演会	一般財団法人・防災教育推進協会より講師派遣 39名
	自主防災・避難所開設訓練	各自治会の自主防災・避難所開設訓練 36名
	えびな安全・安心 フェスティバル	※大型台風上陸のため中止
	秋季火災予防運動	主要4駅での火災予防啓発活動 44名
	消防出初式	式典参加・住警器の啓発及びお汁粉配布 名
	春季火災予防運動	主要4駅での火災予防啓発活動
火災予防活動事業	屋内消火栓指導会	市内屋内消火栓設備保有施設 55事業所 107名
	防火ポスター展	市内小・中学生から応募 小学生 662・中学生 17 679点
少年消防クラブ活動事業 (活動は月1回) クラブ員 55名 指導員 2名	クラブ入会式	市長よりクラブ員証・手帳交付 55名
	海老名市消防操法大会	エキシビジョン(軽可搬ポンプ操法) クラブ員荒天中止
	課外活動(宿泊体験)	1泊2日 消防本部庁舎に宿泊 各種訓練・夕食作り 44名
	秋季火災予防運動	海老名駅で火災予防啓発
	消防出初式	入場行進及び軽可搬ポンプ操法 演技
	赤十字救急法競技会	競技を通じ自助・共助の知識、 技術を深める 4チーム 16名

救急活動の支援用ロボットスーツの導入について

消防本部では、救急活動中における救急隊員の身体的負担、特に傷病者の搬送中における腰への負担や、女性救急隊員が現場活動を行う上での体力の不安や負担を軽減し、働きやすい環境を整えることを目的に、「HAL®腰タイプ作業支援用」ロボットスーツを導入しました。
(県内消防機関初導入)

1 運用開始日

令和元年7月16日(火)

2 導入台数

4台

- ・本署救急隊 2台
- ・北分署救急隊 1台
- ・南分署救急隊 1台



※使用する隊員は出動前に装着(約30秒)

【「HAL腰タイプ作業支援用」ロボットスーツの概要】

1 HALとは

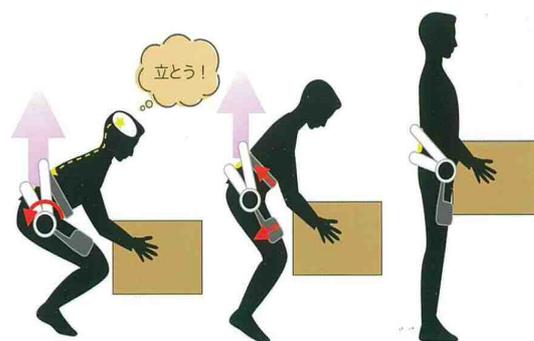
身体機能を改善・補助・拡張・再生することができる、世界初のサイボーグ型ロボット。

2 腰タイプ作業支援用とは

重量物を持ったときに、腰部にかかる負荷を低減(最大40%)することで、腰痛を引き起こすリスクを減らします。また、作業現場の労働環境改善や労働災害防止も期待できます。

3 特徴

脳から筋肉へ信号が伝わる際、皮膚表面に微弱な生体電位信号が発生し、その信号を読み取ることで、装着者の意思に従った動作をアシストし、持ち上げる時や運ぶ時の腰部への負担を軽減します。



【参考】

海老名市救急隊員の状況(36人) 令和元年10月1日現在

年齢層: 20代 6人(16.7%) 30代 9人(25%) 40代 17人(47.2%)
50代 4人(11.1%)

女性隊員: 3人/36人(8.3%)

腰痛経験者: 21人/36人(58.3%)

車両更新について

車両ごとの更新年

	車両種別	更新年
消防署	高規格救急車	7年
	消防ポンプ自動車・指揮車	14年
	特殊車両（はしご車・化学消防車・救助工作車・タンク車等）	16～20年
本部	広報車・予防査察車・資機材運搬車等	14年
消防団	消防団車両	20年

※更新時、車両の走行距離・修理等の状況も考慮しています。

令和元年度の更新車両

はしご車40m級 220,536千円



高規格救急車（北分署） 19,062千円



※写真の高規格救急車は現行の車両

○ 災害出動件数について

	火 災	救 急	救 助	救 急 支 援
平成29年	34件	6,826件	64件	478件
平成30年	21件	7,294件	73件	497件
平成31年	20件	6,164件	58件	383件

※平成31年は、1月1日から令和元年10月31日まで

○ 消防署で実施している主な訓練について

消防署では、隊員育成のため、年間を通しさまざまな訓練等を計画し、隊員のスキルアップを図り災害に備えています。

訓 練 項 目	訓 練 実 施 場 所
合同訓練（火災防ぎょ）	南分署訓練場
三市水難救助合同訓練	神奈川県消防学校・相模川
暑熱順化対応訓練	南分署訓練場
水難救助訓練	神奈川県消防学校・北部公園体育館・社家相模川河川敷
安全管理講習会	本署会議室
小田急異常時総合訓練	小田急海老名電車基地
交通救助対応訓練	南分署訓練場
川崎市消防局航空隊合同救助訓練	南分署訓練場（ヘリポート）



合同訓練（火災防ぎょ）



水難救助訓練（神奈川県消防学校）



暑熱順化対応訓練



交通救助対応訓練（南分署）

○ 特殊災害対応訓練

ラグビーワールドカップ日本開催（ロシアチーム公認キャンプ地【海老名市】）と東京2020オリンピック・パラリンピック開催に伴い、国内外において頻発しているテロ災害を鑑み、化学物質や爆発物などによる特殊災害への対応訓練を、平成31年2月に海老名サービスエリア下り線で神奈川県警察、NEXCO中日本などの関係機関と合同で実施しました。

さらに、各市消防本部の連携強化を図るため、大和市消防本部と合同で特殊災害対応訓練（図上訓練）を実施しました。

今後も継続的に実施し、市民の安心・安全を守ります。



関係機関合同特殊災害対応訓練



海老名市・大和市合同特殊災害訓練

海老名市消防運営審議会条例

昭和 49 年 10 月 4 日
条例第 33 号

(設置)

第 1 条 この条例は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、海老名市消防運営審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第 2 条 審議会は、市長の諮問に応じて消防行政の運営に関する重要事項を調査及び審議する。

(組織)

第 3 条 審議会は、委員 8 人で組織する。

2 委員は、知識経験のある者のうちから市長が委嘱する。

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第 5 条 審議会に会長及び副会長 1 人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、委員会を代表し会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 審議会は、会長が招集し、会議の議長となる。

2 審議会は、委員定数の半数以上の委員が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第 7 条 この条例で定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。